

山武農業事務所

普及だより

山武農業事務所

山武の



山武農林業振興普及協議会

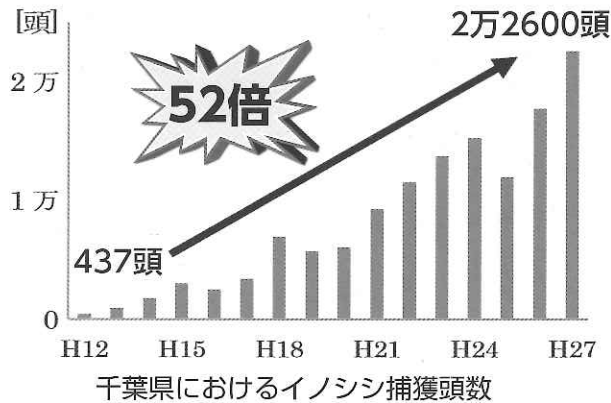
〒283-0006 東金市東新宿 1-11

☎ 0475-54-0226 FAX 52-7914

ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-sanbu/>

イノシシ被害が急増!

近年、山武地域でイノシシによる被害や目撃情報が増加しています。県全体での捕獲頭数は、この15年間で**52倍**に急増しています。



●被害拡大の要因

イノシシ被害が増えている要因の一つとして、耕作放棄地の増加があります。イノシシにとって、人里には山にない美味しい食べ物(農作物、生ゴミなど)が豊富にあります。山と田畑の境

に耕作放棄地が増加したこと、臆病なイノシシが隠れる茂みが増え、餌場である田畑に容易に近づけるようになったと言われています。

●驚異的な繁殖率

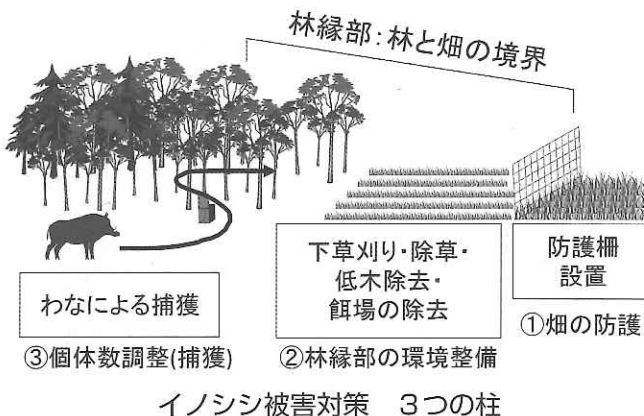
山武地域での農作物被害は、現在は、一部の地域に限られています。しかし、一頭のイノシシを見逃すと5年後には10倍、10年後には130倍に増殖するとの試算もあります。イノシシ対策に早過ぎはありません。

●被害・目撃情報は速やかに

イノシシ対策は地域で取り組むことが重要です。集落ぐるみで行う獣害対策に対する補助事業も整いつつあります。対策を講じるためには生息・被害状況の把握が必要です。イノシシの目撃情報や、被害がありましたら、お住まいの市町村窓口へ情報をお寄せ下さい。

なお、他地域ではイノシシによる人的被害も発生しているため、イノシシに会って

も、むやみに近づかず、決して刺激しないようにして下さい。



新鮮でうまい！ 農家ならではの 漬物加工

山武地域では、各市町に直売施設が整備され、約50経営体が漬物加工に取り組んでいます。農家が漬物加工に取り組む利点として、収穫したての旬の野菜が活用できることや、加工経験豊かな人が家族にすることがあげられます。

○漬物加工技術向上研修会開催

10月6日、各直売施設と連携し、東金市ふれあいセンターで農家・直売担当者63人が集い、研修会を開催しました。講師に元神奈川県農業総合研究所の小清水正美氏を招き、「漬物加工の基本と衛生管理」について講義を受けました。

漬物は、どうして漬かるのか、また、微生物・温度等による味の変化や衛生管理、漬物の歴史や各地で人気のある漬物等について等、幅広い内容のお話でした。

また、JAの直売所担当者か

ら、出荷する際の留意点が次のとおり話されました。

①髪の手等、異物混入に注意する。

②衛生管理に留意し、味の変質が無いように保管時も保冷剤を入れる。

③レシピを定め、味を均一にする。

④ターゲットを明確にした商品作りや食べ方の提案をする。

⑤表示や賞味期限は明確にする。漬物は、直売所では目玉商品の一つです。味の均一化・衛生管理をしっかりと行い、我が家ならではの逸品を作りましょう！



熱心に受講する起業者

農地中間管理事業 飼料用米(生産調整)

引き続きご協力お願いします

■農地中間管理事業

これからの農業を効率的に行う担い手に農地を集めるため、農地の貸し出し等にご協力ください。農地の方や集落に協力金をお支払いする制度です。山武地域でも多くの方のご協力をいただき、数千円の協力金を貰った集落もあります。また、協力金だけではなく畦畔除去等のほ場大規模化のための簡易な基盤整備も補助の対象となっています。

しかし、千葉県は、農業産出額全国第四位の農業県でありながら、この事業の実績に限っては、下から数えた方が早い順位です。この事業は、国の総予算が決まっているため、早く取り組めば取り組むほど協力金の額が多い等メリットがあります。

事業を実施するには、農地法等の手続きも必要なため、時間がかかります。興味のある方は、早めに市町、農業事務所等にご相談ください。

■飼料用米(生産調整)

米の消費は年々減少していて、米余りが低米価の原因の一つとなっています。平成28年は、割り当て以上に米の生産調整に取り組んだ県が多く、全国では生産調整面積を達成し、米価も多少上がりました。しかし、千葉県は依然全国一、生産調整を達成していない県です。

米の生産調整については平成30年以降、国からの割り当てをなくす予定ですが、今までもお各都道府県の生産調整への取組は続ける見込みです。

湿田の多い山武地域では大豆・麦や野菜類への転作は難しいですが、飼料用米は食用米と同じ機械を使って栽培が可能です。作り方によっては食用米より利益が上がるとして、飼料用米だけを作る農家も出てきています。飼料用米への交付金は生産調整未達成者にも出ますので、是非ご検討ください。

ジャソボタニシの 防除

暖冬がつづいているため、越冬したジャソボタニシによる植付け直後の苗の被害が増えています。ジャソボタニシは水気を含む土中や浅水の中で越冬しています。冬期にしっかりと防除し、被害の軽減に努めましょう。

【厳寒期の耕うん】

耕うんにより貝がらを破碎し



ジャソボタニシによる被害の大きい水田

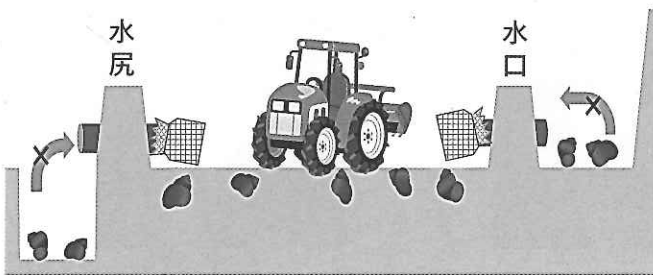
たり、田面に出して寒さにあて
ることで凍死させます。

【水口・水尻付近の掃除】

用水や排水に繋がる柵やパイ
プ管の中で越冬します。このよ
うな場所の土や水を除去してお
くのも有効です。

【侵入防止ネット設置】

水田に1番最初に入水する時
に、多く侵入することがわかっ
ています。可能であれば、田植
え後1週間ぐらいまで水口に網
袋等を設置し、侵入を防ぎます。
また、配水管が排水路の水中に



網設置のイメージ図

沈没す
る場合
は、事
前に水
田側の
排水孔
にも網
等を設
置して
おくの
も有効
です。

トウモロコシの安定栽培 〜発芽率を向上させるために〜

昨年度、トンネル作の2月下
旬〜3月上旬播きトウモロコシ
で発芽不良が多く発生しました。
天候不順で十分な地温が確保で
きず、種子が腐敗したことが原
因でした。発芽率を安定させる
ためには、地温を確保し、短期
間で発芽させることが重要です。
次のことに注意しましょう。

【品種の選定について】

トンネル作では、低温でも発
芽性の良いゴールドラッシュな
どの早生品種を選びましょう。
ゴールドラッシュ90などの晩生
品種は、低温での発芽が不安定
なので4月以降播種の露地作で
栽培しましょう。

【播種時期】

トンネル作は2月下旬から播
種可能ですが、無理な早播きは
避けましょう。週間予報に注意
し、播種後に3〜5日ほど晴天
が続くことを確認してから播種
しましょう。曇天の場合は、天
候が回復してから播種しましよ

う。

【マルチ展張・播種穴の深さ】

マルチは播種の3〜4日前に
展張し、地温を確保しましょう。
深さ1センチほどを目安にし、
乾燥気味の時は深めに播種しま
しょう。土を軽く握って崩れな
い程度の水分状態が最適です。

【覆土鎮圧】

播種後は、土を播き穴にかけ
た後、軽く手でたたき、鎮圧し
ましょう。

【トンネル被覆】

播種後は速やかにトンネル被
覆し、地温の確保を図りましょ
う。発芽するまでは密封し、そ
の後はトンネル内温度が35℃以
上にならないように換気しま
しょう。

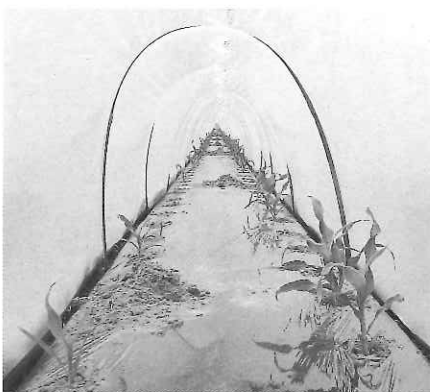


写真 発芽不良の様子

平成28年度認証 指導農業者・ 農業士紹介

本年度、新たに指導農業者士4名、農業士1名が認証されましたので御紹介します。

指導農業者士

○今関 良和氏



- ・山武市
- ・ネギ+
- ・水稲

○齊藤 徹氏



- ・横芝光町
- ・養豚+
- ・水稲

○石井 清一氏



- ・山武市
- ・露地野菜
- +施設花き

○石井 松子氏



- ・山武市
- ・露地野菜
- +施設花き

農業士

○葛馬 裕明氏



- ・山武市
- ・ネギ+
- ・水稲

山武地域の担い手として、今後益々の御活躍が期待されます。

大網白里市農研会長が 全国大会で発表

7月20日(木)に長野県で開催された全国農業青年交換大会において、大網白里市農業研究会会長の桑田健二さんが、関東ブロック代表として「課題分析によるネギ経営拡大」をゼロから売上1億円目指して」を発表しました。

親とは別部門でネギの栽培に取り組み始め、経営拡大して地域ナンバーワンを目指したいと、全国から集まった約300名の参加者を前に力強く語りました。一緒に参加した大網白里市農業研究会の会員も、各県代表の意欲あふれる発表を聞いて、決意を新たにしていました。



発表する桑田氏

平成29年度 「農業経営体育成 セミナー」の参加 者を募集します

新しく農業を始めた皆さんを対象に、同世代のネットワーキング作りと、農業の基礎的・専門的な知識・技術を身に付ける事を目的に「農業経営体育成セミナー」を開催します。是非ご参加ください。

・対象

新規に就農した概ね40歳までの青年農業者

・内容

農業技術に関する講義及び現地視察等

・開催場所

山武農業事務所

・研修期間

平成29年5月から3年間

・参加費

原則として無料

・問合せ先

山武農業事務所改良普及課
TEL 0475(54)0226

お気軽にご相談ください!